

両面受光型 太陽光パネル

3認証機関から認定取得

中国のインリー・グリーンエナジーは、上海で開催された太陽光の展示会「SNEC2018」（5月28-30日）に出展、N型単結晶セルを使用した両面受光型の太陽光パネルで独テュフ（TUV）ラインランドと米ULから認証を受けた。両面パネルのUL認証は世界で第1号、中国のCGCと合わせた三つの認証機関からの認定は世界初。「技術のインリー」のイメージ発信に成功した。

ほかに、同社が中国の特許保持の会社と永続的な独占契約を結んでいる技術「ホットスポットフリー」のパネルも今後アピールしていく考えだ。同社製

中国インリー・グリーンエナジー

エリック・リウ製品管理部製品マネジャーに聞く

品管理部のエリック・リウ製品マネジャーに話を聞いた。

品管理部のエリック・リウ製品マネジャーに話を聞いた。

技術力のアピール成功

「ホットスポットフリー」も展開



盾と認定書を持つリウ・マネジャー



SNEC2018のブース

◇ 得後は両面の発電量を

— 3機関からの認証で、どのような提案が可能になりますか。したことで、全世界で明してください。

ルに配置することで、

影響を受けたモジュール以外の損失を抑えられる。

同パネルは住宅用では避けられない影の問題と発火の原因になる要因を解決する。こちらは当社独自の高度な技術を組み込んでおり、他社の追随を許さないユニークな製品である。

——中国市場での今後の展開は。

住宅向けを推進

リウ・マネジャー P型多結晶モジュールのコストパフォーマンスを高めるとともに、N型「PANDA」シ

リウ・マネジャーの販売が可能になっ

リウ・マネジャー リーズの両面ガラスモジュールの住宅向けへの展開が当面の戦略になる。中国の住宅は陸

た。両面パネルでUL認証が必要からの認証を世界で初めて取得できたことな発電所に 発電量として申告せざるを得なかったが、取

片面だけの、技術力の証といえる能力を発揮しやすい。セルマネジメントシステムを1枚1枚のパネ層、反射光を活用でき

る。日本市場はどのようにお考えですか。リウ・マネジャー

国内の設置スペースは縮小傾向だが、重要な市場には変わりない。どんな環境でも性能をフルに発揮できるモジュールを開発し、投入

したい。リウ・マネジャー

自社の利益だけではなく、業界全体をけん引していきけるように努力してきて努力してきた。その結晶が今回の認証取得につながった。これからも新しい製品や新技術をつくり出していききたい。